

笑う門には福来る

泉ホール

現代狂言 VIII

南原清隆

狂言とコントが 結婚したら

野村万蔵

◆ご挨拶
◆古典狂言「口真似」
◆コント
◆新作「アリとキリギリスとカミキリムシ」

作 南原清隆 演出 野村万蔵



佐藤弘道



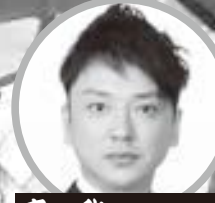
遠野なづこ



山村ゆき元



ドロンズ石本



森一弥 (エネルギー)



栗手悟 (エネルギー)



石井康太 (やるせなす)



大野泰広



中山貴裕

楽士: 和田 啓
稲葉明穂

2月8日(土)

発売中

開場14:30 / 開演15:00

チケット料金 全席指定

1・2階席 3,000円 (高校生以下1,500円)
3階席 2,500円 (高校生以下1,000円)
未就学児は入場できません
車椅子席はお問い合わせください。

チケット取扱所

下呂交流会館 (電話予約25-5000)
チケットぴあ (Pコード: 433-025)
高山市民文化会館
飛騨市文化交流センター

グループ割

10枚以上の同時購入で10%割引!



託児サービスがあります(1人1,000円)。
詳しくはお問い合わせください。

～古典の笑いとの現代の笑いをコラボレーションさせた新ジャンル!～

現代狂言
HISTRY

2002年1月日本テレビ系列の大人気番組「ウッチャンナンチャンのウリナリ」で、出演者が狂言に挑戦するという「ウリナリ狂言部」が放送されました。南原清隆をはじめ、天野ひろゆき、小池栄子、チューヤン、北陽の各氏を指導したのは、和泉流狂言師、野村万之丞でした。姿勢、歩き方、立ち居振舞から舞、謡、語りと厳しい稽古を積んで披露しました。これをきっかけに万之丞と南原は意気投合し、古典の笑いとの現代の笑いをコラボレーションした企画「現代狂言」を考えました。

2004年に万之丞が急逝し、その後、弟である萬狂言代表の九世野村万蔵とともに南原は、笑いの新しいジャンル「現代狂言」を旗揚げしました。レギュラーとなっている佐藤弘道、ドロンズ石本、エネルギー、やるせなす、大野泰広のほか、ゲストとしてキャイ〜ン、ルー大柴、渡辺正行、島崎俊郎、嶋大輔、彦摩呂、野々村真、イワイガワ、さとう珠緒、セインカミュ、ニコラスベタス、山田まりや、安めぐみ、市川由衣、宮地真緒らが参加しました。

演目 ■古典狂言 「口真似」
ある日主人は「誰か酒の相手になる人を呼んで来い」と太郎冠者(従者)にいっつけます。そこで太郎冠者が連れてきた客は酒癖が悪いので有名な人物。主人は無理に連れて来た手前、その客を穏やかに帰そうと考え、太郎冠者に自分の言うとおりに行動するようにいっつけます。しかし勘違いをした太郎冠者は…。

■新作「アリとキリギリスとカミキリムシ」
作 南原清隆 演出 野村万蔵

乞うご期待!

森山良子アコースティックコンサート

泉ホール

3月2日(日) 開場14:30 開演15:00

チケット料金 全席指定 S席(1・2階席) 4,500円
A席(3階席) 4,000円

未就学児は入場できません
車椅子席はお問い合わせください

チケット取扱所 下呂交流会館(電話予約25-5000)
チケットぴあ(Pコード:217-200)
高山市民文化会館
飛騨市文化交流センター

チケット発売日 1月25日(土) 9:00~(電話予約13:00~)
チケットぴあ 10:00~

※発売初日はお1人様1回の購入につき6枚まで

グループ割

10枚以上の同時購入で10%割引!
グループ割の適用は2月1日(土)からです。



託児サービスがあります(1人1,000円)。
詳しくはお問い合わせください。

「涙そうそう」「さとうきび畑」「あなたが好きで」など、
名曲の数々を歌いあげます。

特集ページをご覧ください。



シナジーナイト

マルチスタジオ

今蘇る、チェンバロの楽しみ

軽やかで優雅な音色が特徴のチェンバロ。
ピアノとはまた違う、
チェンバロ独特の音色をお楽しみください。

3月14日(金) 開場19:00 開演19:30

チケット料金 全席自由 1,000円(100席限定)

チケット取扱所 下呂交流会館
(電話予約25-5000、当日受取可)

※チケット購入後のキャンセルはできません。

チケット発売日 2月14日(金) 9:00~

Synergy Night

シナジーナイトは音楽などの
すばらしいパフォーマンスを
気軽に楽しもうという企画で
す。アクティブスポーツの
企画、運営で開催します。

演奏(予定)曲 J.S.バッハ トッカータ
J.P.ラモー 組曲イ短調より
F.クープラン クラヴサン曲集より 他



■渡辺敏晴 (haru) Cembalo

東京芸術大学音楽学部楽理科およびノルウェー国立音楽大学卒業。

チェンバロをシェティル・ハグサン、ヴィオラ・ダ・ガンバを千成千徳、ヴィーラント・クイケン氏に学ぶ。また中国古典音楽および生田流胡弓を坂田進一氏に師事。

1999年より古楽アンサンブル「コキリコ社」を結成。また、群馬県にて古楽音楽祭「アーリーミュージックの夏in前橋」を主催。2000年より群馬大学音楽専攻科メサイア研究会講師、2007年より都留音楽祭アシスタント講師。2012年より「加子母木の香る音楽祭」を主催。

CDはコキリコ社として2007年「First Album」を、渡辺敏晴として2009年「小さなチェンバロ」をリリースしている。

車に「小さなチェンバロ」を積んで全国を旅する演奏活動が好評を得ている。チェンバロとオカリナを自宅にて製作している。

